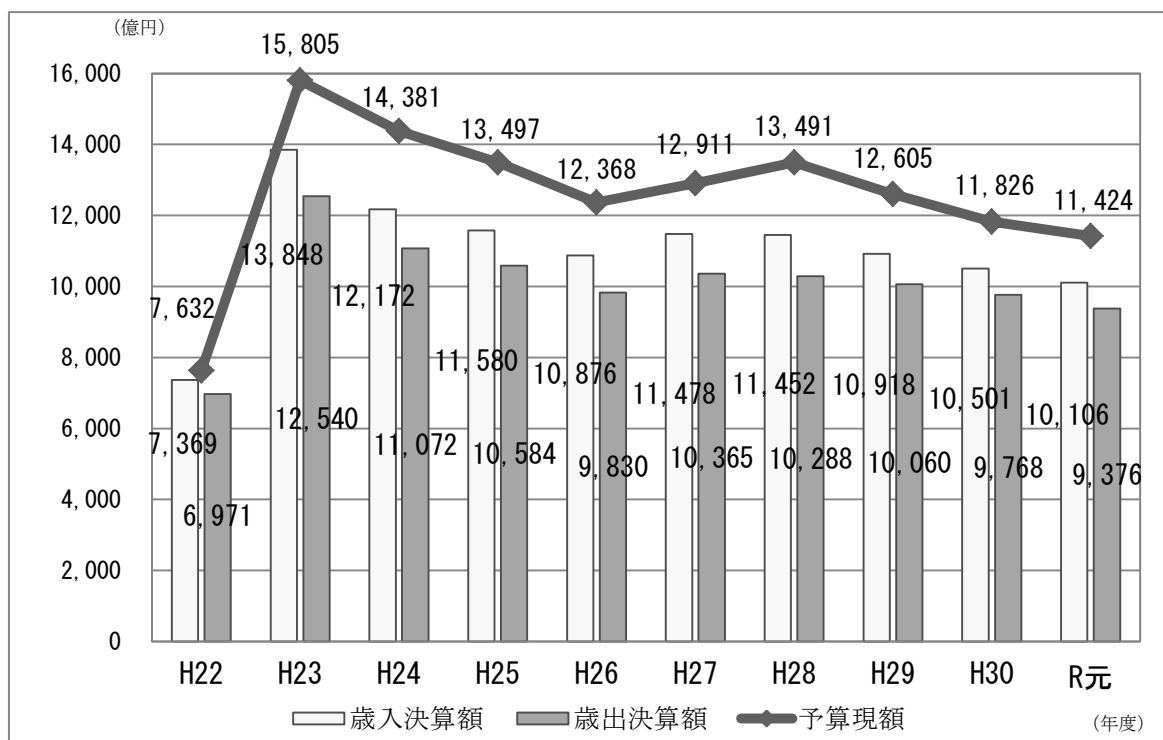


令和元年度一般会計歳入歳出決算の概況

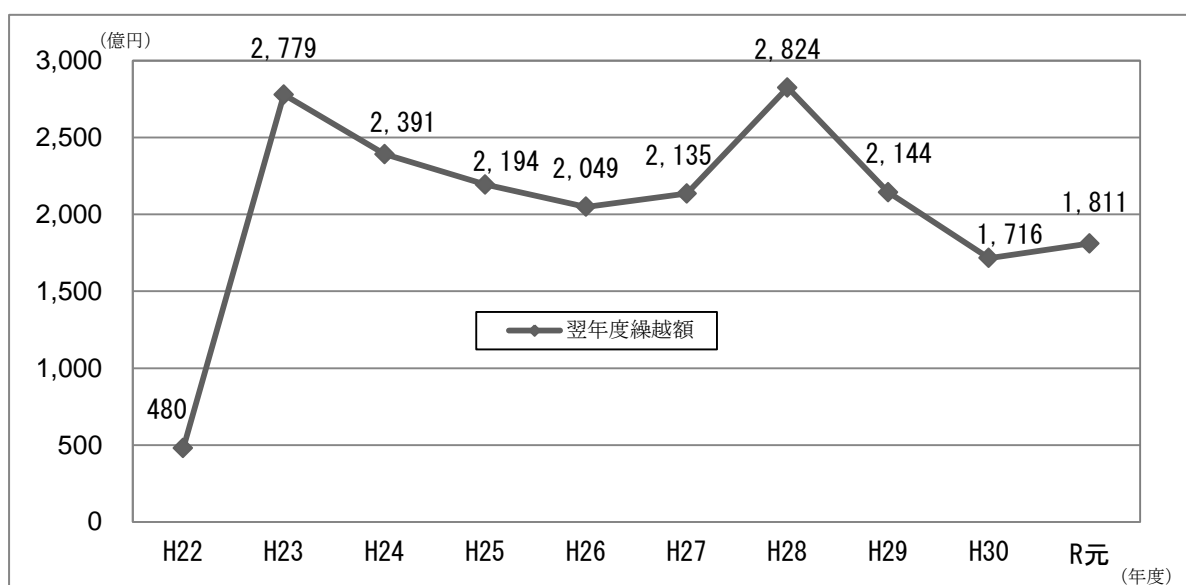
1 予算現額及び歳入・歳出決算額の推移

復旧復興事業の進捗などにより、予算現額及び歳入・歳出決算額ともに前年度を下回った。



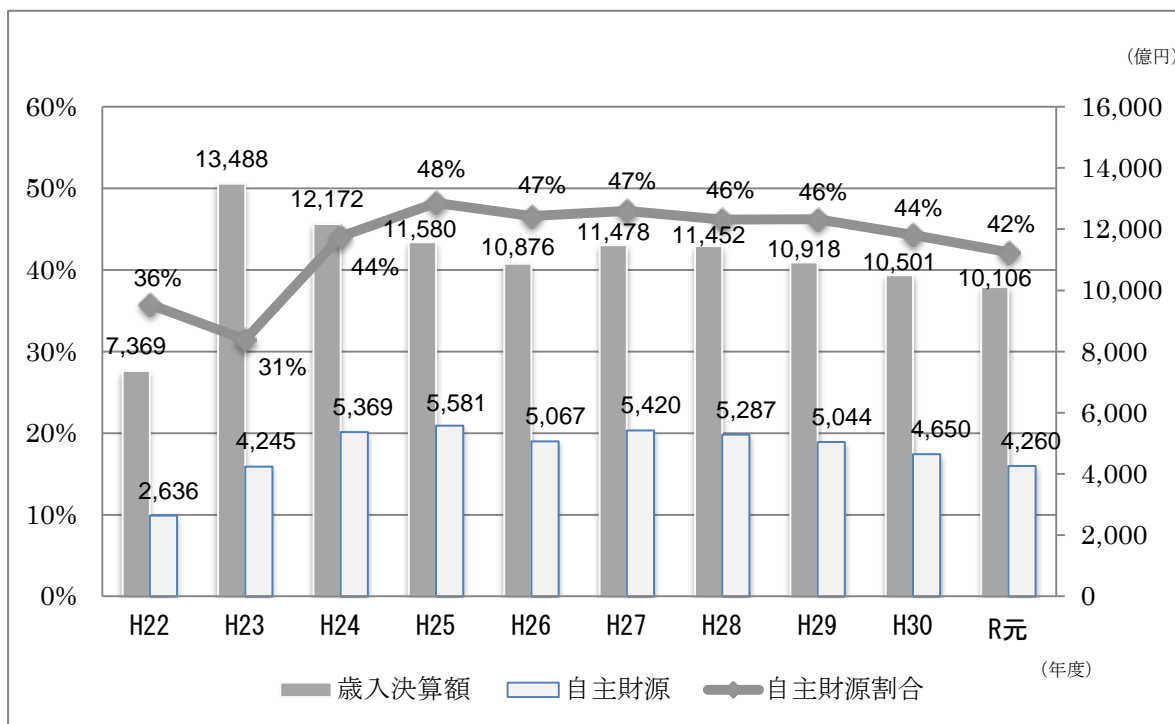
2 翌年度繰越額の推移

翌年度繰越額は、前年度に比べ増加した。



3 自主財源割合の推移

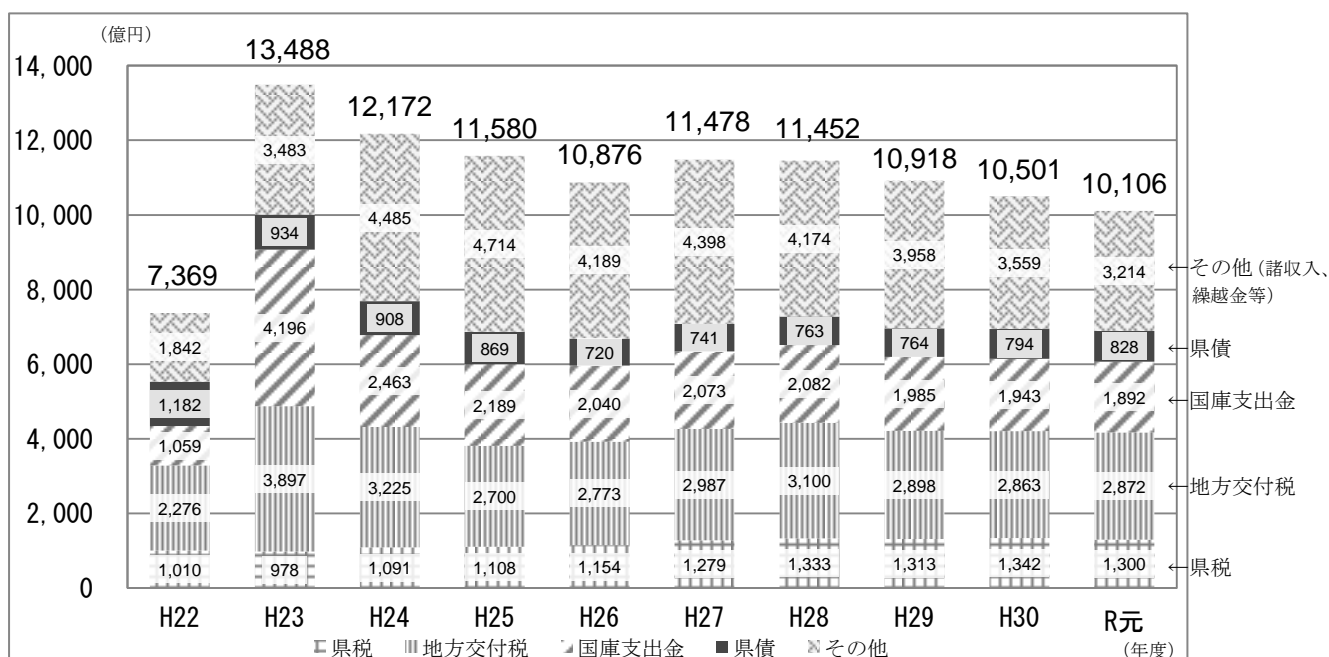
自主財源は、繰越金や繰入金の減などにより減少したが、引き続き 40% 台を推移している。



※自主財源：県税、地方消費税清算金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入

4 歳入決算の状況

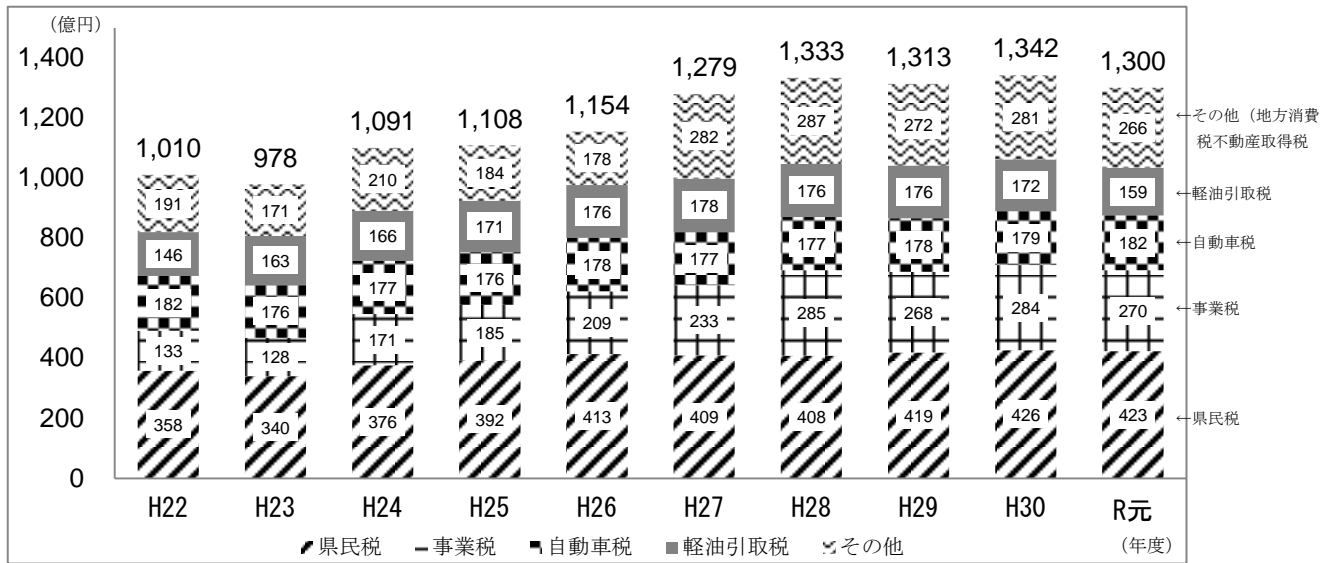
歳入決算額は、繰越金の減や県債管理基金などの基金繰入金及び諸収入の減などにより減少した。



【歳入のうち県税と県債の状況】

(1) 県税

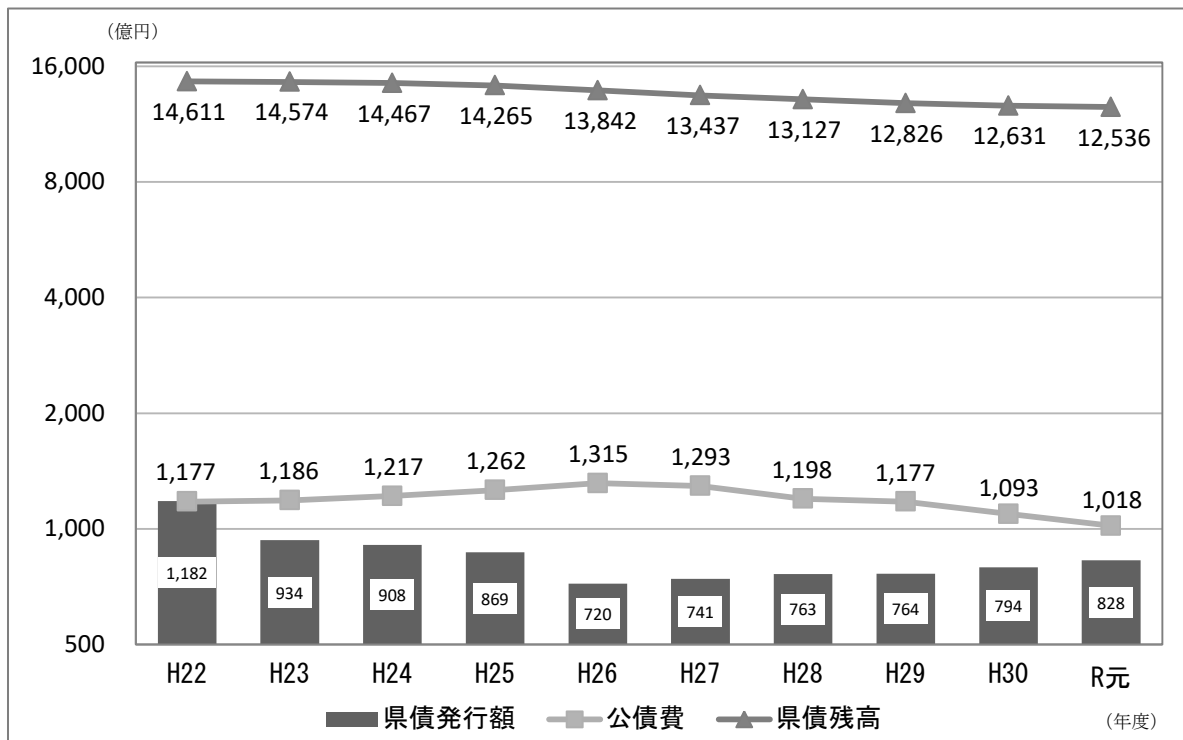
県税収入は、事業税、軽油引取税などの減により、昨年度より減少した。



※事業税（法人事業税、個人事業税） 県民税（個人県民税、法人県民税、利子割県民税）

(2) 県債

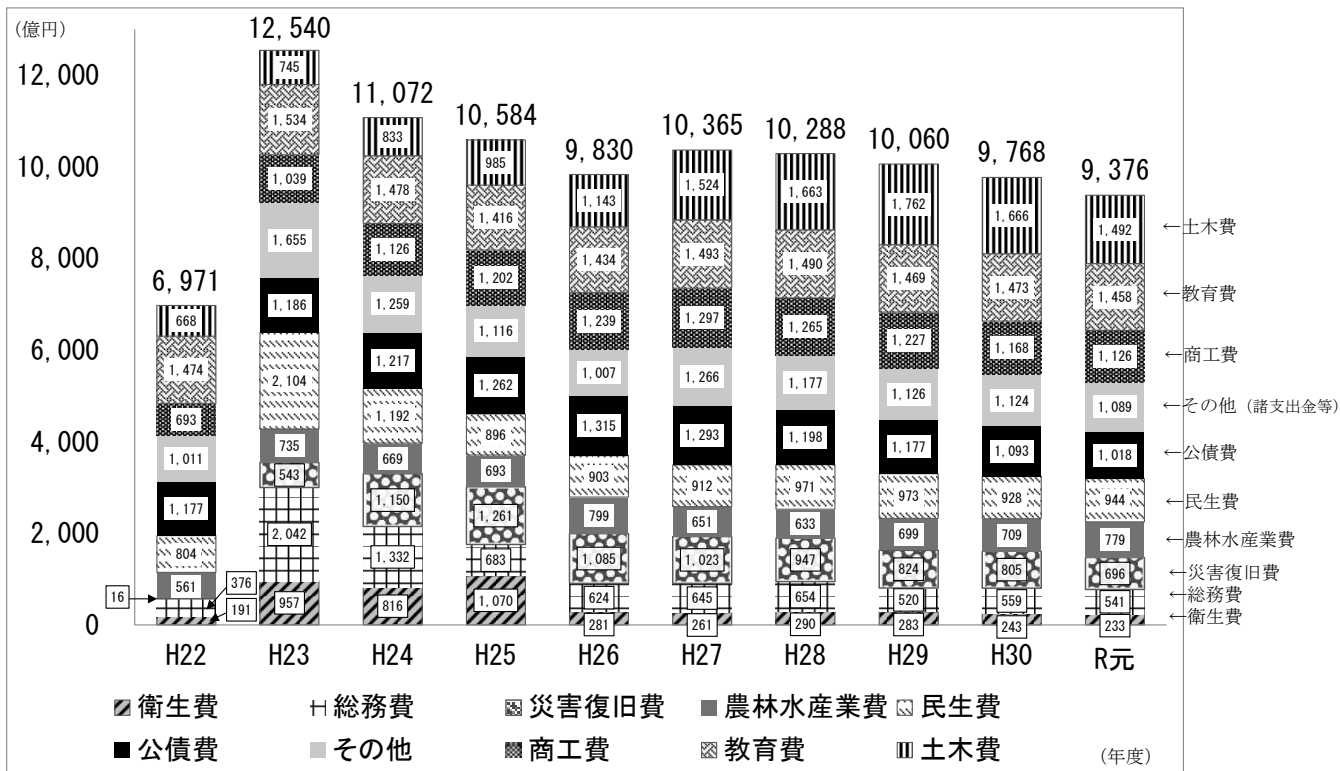
県債残高は、平成 22 年度をピークに減少している。



5 歳出決算の状況

(1) 目的別

目的別分類では、災害公営住宅設備事業費などの減少に伴う土木費の減、漁港災害復旧事業費などの減少に伴う災害復旧費の減、公債管理特別会計への繰出金などの減少に伴う公債費の減などにより減少した。



(2) 性質別

性質別分類では、公債費などの減により義務的経費、災害復旧事業費などの減により投資的経費、貸付金などの減によりその他の経費がそれぞれ減少した。

